

いずみさの教育

NOW

問合せ先
学校教育課
☎493-2091

中学生部活動地域展開に向けて

柔道部・剣道部の

「拠点校方式」による実施と指導の委託

中学生の部活動は授業ではない活動ですが、生徒の多様な学びの場として教育的意義を持ち、これまで学校教育の一環として行われ、熱意ある教員の指導により続けられてきました。しかし近年少子化が進み、部活動に参加する生徒が減少し、チームを結成することが難しくなるなど、存続が厳しい部活動もあります。また各教員の専門性と担当する部活動が必ずしも一致せず、専門的な技術指導が十分でない場合もあり、教員の働き方改革の観点からもこれまでのような教員による指導のみで部活動を進めることは一層難しくなってきました。このような状況のもと、「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン（令和7年12月）」が文部科学省より出され、部活動の実施主体を学校から、実情に応じて段階的に地域へ展開していくという方針が示されました。そして令和8年度から13年度までの6年間で「改革実行期間」と位置づけられました。本市としても、生徒の豊かで持続可能なスポーツ・文化芸術活

動の実現を目的として、中学生の部活動を地域へ展開していきたいと考えています。

本市では、平成30年度より専門的な技術指導ができる部活動指導員を配置し、現在運動部10人、文化部4人の部活動指導員が指導を担っています。さらに4月からは、これまで部活動指導員を配置してきた佐野中学校柔道部と第二中学校剣道部を「拠点校方式」の部活動とし、他の市立中学校からも希望する生徒を受け入れるとともに、泉佐野市柔道連盟と泉佐野市剣道協会に指導を委託します。教員は顧問や指導を担わず、学校は窓口となる担当教員のみを設定します。参加を希望する生徒の拠点校までの移動は保護者の責任での対応をお願いしています。参加申込は4月から受け付けます。詳しくは市ホームページ（ID：16341）をご覧ください。

生徒の豊かで持続可能なスポーツ・文化芸術活動の実現をめぐず取組として、ご理解ご協力をお願いします。

学校園紹介



危機管理課職員から学びました ～末広小学校～

昨年12月、市役所危機管理課職員に講師をお願いし、4年生が防災について学びました。学習を行う中で避難所の話があり、児童から「学校には備蓄倉庫がありますが、中には何が入っているのですか」という疑問が出ました。そこで実際に備蓄品を体育館に並べてもらおうと、大きな釜や段ボールでできたベッドなど、生活に必要な物がたくさんあり、児童たちは実際に見て触れることで、学びを深めることができました。また、危機管理課職員の話を通して「自分の命は自分で守ること」の大切さを改めて教えてもらいました。



学んだことをいかに、災害が起きて地域の様々な人たちが末広小学校に避難してきたら「どのような避難所であれば、誰もが安心して過ごせるのか」など、自分たちで考えながら意見を出し合いました。「そもそもどのような人がいて、どのようなことに困るのだろうか」という問いが生まれました。その中でも「妊婦さん」「アレルギーのある人」「高齢者」「ペットを飼っている人」など、自分たちの生活と重ねて考えている児童も多く見られました。

最後に「こんなことで困りそうだから、こんな工夫があると良いと思います」という具体的な考えを危機管理課職員に発表し、発表後には励ましの言葉をもらいました。

児童は、学んだことを土台に実際の行動につなげたことで自信を深め、自分たちも地域の一員であるという意識を高めることができました。今回の学習を通して、よりよい泉佐野市をつくっていかこうとする気持ちを育むことができました。

泉佐野南部公園への遠足 ～長南小学校～

本校では全学年の子どもたちで班を編成して、異学年交流を進めるニコニコ活動（縦割り活動）を行っています。この活動の一環として、毎年秋に泉佐野南部公園を訪れるニコニコ遠足を実施しています。昨年度は好天に恵まれ、青空と人工芝の緑のコントラストがとてもきれいでした。

ニコニコ遠足では、班ごとにゲームやクイズのあるチェックポイントをまわるニコニコラリーをしたり、人工芝の上で思いっきり体を動かして遊んだりします。班での活動は高学年の子どもたちがリーダーとなって活躍します。低学年に優しく教え、お礼を言うってもらうことで高学年の子どもたちの自己有用感を高めること、高学年の活躍している姿を見て、自分の近未来の姿をイメージし、低学年の子どもたちのキャリア発達を促すことを目的としています。



また、公園内にある防災施設を見学する防災学習も行いました。長椅子ベンチがかまどに変わる様子、1人掛けベンチがマンホールトイレに変わる様子、防災倉庫内の備蓄品の見学をしました。

子どもたちはニコニコ遠足を通じて、自分たちの住んでいる地域に泉佐野南部公園のような防災や人権を大切に施設があること、そして日頃から見守ってくれている地域の人がいることに改めて気づくことができました。

